

2017
10.17~
10.20

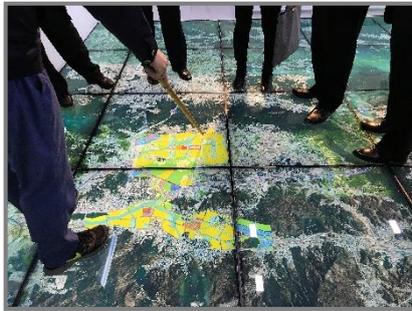
楊州市

ADMINISTRATIVE INSPECTION REPORT
TO YANGJU CITY

姉妹都市
視察報告書



감동양주
시민이 원하는 확실한 변화!



藤枝市議会ヤンジュ市訪問団

INDEX

はじめに	・・・・・・・・・・	1
楊州市との関係	・・・・・・・・・・	2
楊州市からの招待状	・・・・・・・・・・	3
楊州市の概要	・・・・・・・・・・	4
訪問団名簿	・・・・・・・・・・	5
訪問日程	・・・・・・・・・・	5
表敬訪問の概要		
1. 楊州市長表敬訪問	・・・・・・・・・・	6
2. 楊州市議会表敬訪問	・・・・・・・・・・	7
3. 市民の日イベント参加	・・・・・・・・・・	8
4. ホンジュク一般産業団地視察	・・・・・・・・・・	9
5. テクノバリー誘致現場視察	・・・・・・・・・・	10
6. オクジョン新都市建設広報館視察	・・・・・・・・・・	10
世界文化遺産見学の概要	・・・・・・・・・・	11
訪問団議員の感想	・・・・・・・・・・	12～13
おわりに	・・・・・・・・・・	14～15



はじめに

思いもかけず、楊州市から「市民の日」のご招待状をいただき、公式訪問団を結成いたしました。その後は、限られた時間の中で、団員自ら勉強会を開催し、楊州市を詳しく学ぶことから始まり、簡単な韓国語でのあいさつやマナーまで、姉妹都市楊州市を訪問する心構えからスタートしました。

楊州市と藤枝市は平成 21 年 8 月 24 日に友好都市の提携、そして平成 24 年 11 月 13 日には、交流が深まり姉妹都市として提携いたしました。今年、姉妹都市提携から数えて 5 年の節目にあたります。

国際情勢や、外交問題が取りざたされる中ではありましたが、これを記念し、両市間の相互理解を一層深めるとともに、交流事業のさらなる継続・発展を図るなど、友好の絆をさらに強めるため、楊州市に 10 月 17 日から 20 日までの日程で訪問してまいりました。

楊州市では、イ・ソンホ市長、パク・ギルソ議長をはじめ、楊州市議会議員の皆さんと様々な形で懇談や意見交換を行うのみならず、同年 10 月 29 日藤枝市で開催するフードスマイルフェスティバルへのオ・ヒョンスク副市長と市議会議員 2 名の訪問について確認することができました。

また、市民の日を記念しての式典に参加するほか、現在開発が進むホンジュク産業団地や新都市建設広報館などの視察をさせていただき、今後急速に発展していけらう楊州市を目の当たりにすることができました。

今回の訪問で、楊州市副市長や楊州市議会議員の藤枝訪問につながったように、今後も引き続き交流を継続していくことが、互いの市の理解を深めることにつながり、また交流事業の発展につながっていくことと確信いたしました。

最後に、楊州市訪問にあたり、ご協力いただきました多くの関係各位に、訪問団を代表しまして、心から感謝申し上げます。

藤枝市議会ヤンジュ市訪問団 代表 西原 明美

楊州市との関係

区 分	内 容
提携の経緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年友好都市提携締結（平成 24 年に姉妹都市に変更） 富士山静岡空港の開港（平成 21 年 6 月 4 日）を機に、就航先である韓国との交流による国際交流人口の増および空港利用促進を目的として、静岡県の紹介により交流を開始する。
交流の概要	<ul style="list-style-type: none"> 市職員研修の行政交流 市民による文化、スポーツ、観光、教育における講師の視察等 高校生の交換留学事業 来藤 31 名・訪問 17 名/4 年間累計
その他	<ul style="list-style-type: none"> 藤枝市内企業の韓国進出企業数 2 社 平成 22 年 藤枝市議会・行政視察訪問団派遣
平成 26 年度の交流状況	<ul style="list-style-type: none"> PK 選手権（藤枝市）に楊州市サッカーチーム参加 交換学生の相互派遣（国際友好協会） ヒョン楊州市長の就任式に山梨副市長出席 「楊州市民の日」記念式典に職員派遣（連携交流課） 職員相互派遣研修事業（人事課） 中学校間でスカイプ（インターネット映像送受信）を活用した交流研究の開始（藤枝中学校⇄チョヨン中学校） 藤枝シニア草サッカー大会に楊州市サッカーチーム参加
平成 27 年度の交流状況	<ul style="list-style-type: none"> 中止となった交流 → 交換学生（高校生）、PK 選手権大会 学校交流 → スカイプ（5 回）、作品交流（5 回・藤中⇄チョヤン中） 「藤まつり」に楊州市副市長来藤 楊州市「綿花繊維フェスティバル」に種石理事出席 「楊州市民の日」に石塚環境水道部理事出席（市長代理） 「フードスマイルフェスティバル」に楊州市来藤 職員相互派遣研修
平成 28 年度の交流状況	<ul style="list-style-type: none"> 楊州市サッカー協会来藤（PK 選手権に参加） 交換学生の相互派遣 中学校間でスカイプ交流（4 回） 「藤まつり」に楊州市関係者来藤 「楊州市民の日」に三好市民文化部長出席（市長代理） 「産業祭」へ楊州市出展
平成 29 年度の交流状況 （～10 月末）	<ul style="list-style-type: none"> 楊州市サッカー協会、体育協会来藤（PK 選手権に参加） 交換学生の相互派遣 藤枝中央小学校でスカイプ交流 「藤まつり」に来藤 楊州市「王室祭」に河野副市長と職員 3 名が参列、実務協議 「楊州市民の日」に藤枝市議会訪問団出席 「フードスマイルフェスティバル」に出展来藤
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○楊州市からの交流事業提案について検討 市民対象の文化体験の講座開設（例：楊州料理講座、藤枝茶講座 等）

楊州市からの招待状

招 聘 状

尊敬する北村正平市長、西原明美議長をはじめとした藤枝市議員の皆様

楊州市長 イ・ソンホです。

時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

藤枝市と楊州市が姉妹都市提携を結んで以来、両市の交流事業に対して至大なる御関心、御支援をいただきまして心よりお礼を申し上げます。

来る10月19日は「第15回楊州市民の日」です。楊州市民の日の記念イベントとして楊州市では、10月14日に「王室祭り」、10月19日に「市民の日記念式典」を開催いたします。是非、北村市長及び藤枝市議員の皆様の御臨席を賜りますようお願い申し上げます。

また、市政について御助言等をいただきたく、友好交流を御提案いたしますので、議員訪問団での訪問を御検討いただけたら幸いです。開発を進めているオクジョン新都市開発地区や、最先端産業団地であるテクノバリー誘致候補地等についても、是非ともご覧いただきたいと思っております。

「王室祭り」は、市民の日を記念するとともに市民和合を図る新規の行事であり、藤枝市の代表団を御招待いたします。ぜひとも御光臨を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、藤枝市のますますの御発展と、皆様の御健勝をお祈り申し上げます。

2017. 9.

楊州市長 李成浩



楊州市の概要 平成 28 年 11 月末現在

人 口	212,811 人 (うち外国人数 7,298 人)
面 積	310 km ²
行政地区	1 邑、4 面、6 洞
位 置	京畿道 (キョンギド) の北部に位置し、ソウル特別市の北側に隣接 ソウルから約 29 km、仁川 (インチョン) 国際空港から約 81 km、 水原 (スウォン) から約 64 km
交 通	ソウルから国道 3 号線、鉄道 1 号線で 3 駅 外郭循環高速道路 (松楸 IC-楊州料金所) クリ ポチョン高速道路 (楊州 IC-オクジョン IC-ソウル)
財政規模	5,753 億ウォン (一般会計 : 4,679 億ウォン 特別会計 : 1,074 億ウォン)
学 校	53 校 (小学校 32、中学校 10、高校 7、大学 3、特別支援学校 1)
企業数	1,897 社 (従業員数 29,345 人)
登録工場数	2,025 社
上水道普及率	97.4% (80,719 トン/日)
下水道普及率	90.9% (処理人口 約 19 万人)
都市ガス普及率	77.2% (80,468 世帯のうち 62,128 世帯)
行 政	市長 (任期 4 年) 職員数 852 人
市議会	議員数 8 人 (任期 4 年) (3 選挙区 7 人、比例代表 1 人)
市の象徴物	花 : レンギョウ 木 : 松 鳥 : カササギ
観 光	北漢山 (プッカサン) 国立公園、紺岳山 (カマクサン)、 佛谷山 (プルゴクサン)、長興 (チャンフン) アートパーク、 ソナム天文台、等
特産品	韓牛、米、梨、ニラ、等

訪問団名簿

代表・西原 明美 副代表・萩原 麻夫 小林 和彦
 石井 通春 松嵯 周一 平井 登 鈴木 岳幸
 事務局長・杉本 容一 (以上 8名)

訪問日程 平成 29 年 10 月 17 日(火)～10 月 20 日(金)の 4 日間

月 日	都市名	交通機関	時 間	行 程
10 月 17 日 (火)	藤枝市役所発 富士山静岡空港発 仁川空港着 ソウル市内	貸切バス エアソウル 711 専用車	14:00 17:00 19:05 22:20	市所有バスで空港まで移動 富士山静岡空港→仁川空港 通訳と合流 ホテルへ
10 月 18 日 (水)	ソウル市内	専用車	9:00 10:10 14:00 15:40 18:30	世界遺産視察 ・宗廟 ・昌徳宮 ・水原華城 ・南漢山城 ホテルへ
10 月 19 日 (木)	楊州市内 ソウル市内	専用車	終日 18:30	楊州市役所 市長表敬訪問 楊州市議会 議長表敬訪問 〈市長、議員と意見交換会〉 「楊州市民の日」式典参列 楊州市内視察 ・企業誘致先進事例視察 ホンジューク一般産業団地 ・テクノバリー誘致現場視察 ・オクジョン新都市開発視察 新都市建設広報館 ・ナリ公園視察 ホテルへ
10 月 20 日 (金)	ソウル市内 仁川空港発 富士山静岡空港着 藤枝市役所着	専用車 エアソウル 712 貸切バス	10:00 13:40 15:35 16:50	仁川空港へ 仁川空港→富士山静岡空港 富士山静岡空港 解散
宿泊ホテル	ソウル市内	サミットホテル東大門 ソウル特別市中区獎忠壇路 198 TEL. 02-2285-0540 FAX. 02-2285-0549		

表敬訪問の概要

1. 楊州市長 表敬訪問

本市と姉妹都市関係を結ぶ韓国楊州市のイ・ソンホ市長より、10月19日に行われる市制15周年を祝う市民の日記念式典へ、市長および議員訪問団での訪問の招待をいただきました。

当日は、友好交流のみならず、市政に対する助言や開発都市であるオクジョン一般産業団地地区、最先端産業団地であるテクノバリー誘致現場などの視察を行いました。

ここでは市長表敬について報告します。

視察3日目の10月19日(木)、宿泊先のソウル東大門のホテルに楊州市から迎えのバスに来ていただき走ること1時半余(ソウル特別市の北側約29Kmになるとのこと)。とても豪華な市庁舎に着くと、副市長が出迎えてくださり市長室へと案内されました。

出迎えてくださったイ・ソンホ市長は、とても精力的で、伸張著しい同市を引率するにふさわしい方との印象をもちました。

午後の記念式典に向け多忙の時期ではありましたが、昨日まで市議会が開かれており、ここでは議員から数々の批判もあり大変苦労したと笑顔で話されました。

姉妹都市でありながら人口は藤枝市を大きく上回る21万2000人、企業数は1,897社もありながら、議員数はたった8名。それだけ市議会の議論も重要で大変な準備と調査が必要なのであらうと想像しました。

この表敬訪問に先立ち、本市からは河野副市長が「王室祭り」(10月14日)に、折り返す形で10月28日藤枝市において実施した「フード



対談する西原代表とイ・ソンホ市長

スマイルフェスティバル」には、楊州市の副市長と2名の議員の方が来藤していただいたが、両市長同士はまだ対面しておらず、イ・ソンホ市長は北村市長と面会できる日を心待ちにされているとお話されていました。

楊州市は中国のある都市とも姉妹都市関係にあったが、国策の影響で現在は交流が途絶えているとも話されており、決して良好とはいえない日韓関係の中で両市の交流をさらに深め、日韓友好の一助となるよう親善関係を築き上げていきたいと考えます。

(訪問団議員 石井通春)



イ・ソンホ市長とオ・ヒョンスク副市長



楊州市・議会棟玄関前にて（右7名は楊州市議員）

2. 楊州市議会 表敬訪問

楊州市議会の全議員からお出迎えをいただき議会委員会室において、はじめに、パク・ギルソ議長より歓迎のごあいさつをいただきました。続いて、西原代表より楊州市訪問のあいさつがあり、友好のしるしとして記念品の交換を行いました。また、それぞれの議員が両市の状況について意見交換をする中、今後の姉妹都市のあり方について発展的な協議を行いました。楊州市へは、8年前にも当市の議員団が訪問した経緯もあったことから、より一層の友好を深められる機会であったと感じております。

昨今、日韓関係は従軍慰安婦問題などで、必ずしも良好だとはいえませんが、そういった国家間の問題とは別に地方自治体同士の国際的友好関係が一層深められ、すばらしい姉妹都市関係が築けていると思っています。

本年10月29日に本市で開催された「フードスマイルフェスティバル」には、楊州市オ・ヒョンスク副市長をはじめファン・ヨンヒ議員とホン・ソンビョ議員に來藤していただき、さらなる友好を深めることができました。

（訪問団議員 小林和彦）



3. 市民の日イベント参加

日時 平成29年10月19日(木)
会場 京畿繊維総合支援センター



藤枝市議会楊州市行政視察訪問団として招聘をいただいた「第15回楊州市民の日・記念式典」に参列しました。同市では毎年「楊州市民の日」を開催して、市民の功労者表彰を行っており、今回で15回目とのことでした。記念式典会場に入った時には大勢の人達で埋め尽くされていました。会場の舞台では、女性グループによる太鼓演舞が音響豊かに行われていました。記念式典の前後には、参加市民の憩いのひと時として、演舞や歌謡ショー等のアトラクションが行われているようです。

記念式典では、イ・ソンホ市長とパク・ギルソ議長から藤枝市議会訪問団への歓迎と友好の言葉が添えられたあいさつがあり、引き続き西原明美藤枝市議会議長が登壇し「第15回楊州市民の日」開催への祝辞を述べました。

この後、市民憲章の唱和、姉妹都市からのメッセージ披露、そして功労者表彰へと式典が進みました。功労者表彰では、分野別による賞状授与が行われ、内容的には「藤枝市表彰式」と同様の趣旨による式典でした。

進行手法で違う点と感じたのは、表彰直後にその場で授賞者と受賞者との記念撮影に入り、お祝いに駆けつけた知人・友人も加わり、贈ら



れた花束に埋もれながら賑やかに行われることでした。その光景が受賞者の数だけ続けられました。記念式典の最後に、楊州市が推進している地域開発事業「テクノバリー」の認可(12月予定)に向けて、参加者全員による「テクノバリー・コール」が行われ、盛会の中に閉会となりました。

(訪問団議員 松寄周一)



訪問団・西原明美代表の祝辞

本日、15回目の楊州市民の日を迎えられますことを、心からお喜び申し上げます。藤枝市と楊州市との交流が始まってから8年が経過し、この間、両市は確実に成長を続け、両市民の交流は多分野において進められております。スカイプを活用した交流や交換学生事業などの教育分野をはじめ、サッカーを中心としたスポーツ交流、そして産業分野での交流など、今後ますます交流が拡大していくことを期待しています。



4. ホンジュク一般産業団地視察

楊州市には11箇所もの産業団地があり、その中でも最大規模となるのがホンジュク一般産業団地である。585,700㎡の広大な土地を利用して、地域特化産業としての先端産業およびR&D産業の育成と雇用創出を通じた地域経済活性化および都市間競争力の向上を推進されていた。

同団地開発事業は2007年から本格スタートしており、総事業費は2,142億ウォン（約214億円）。施行機関である楊州市（10%）、京畿都市公社（60%）、韓国産業団地公団（30%）の投資比率となっている。現在13業種58社が入居し、操業または建設中であったが、そのうち監視カメラ機器製造の(株)ライブゾンとデジタルプリント事業の(株)ティエスを視察した。

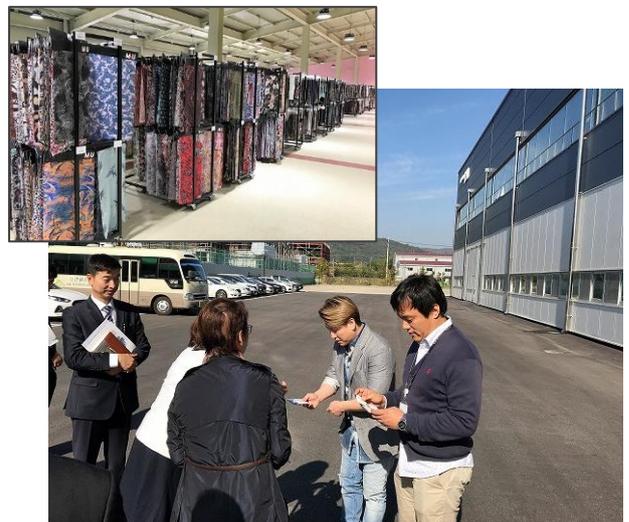
|(株)ライブゾン

監視カメラや録画装置を開発製造する同社は2012年7月に設立された新しい会社である。国内外のセキュリティ会社等へ製品供給しており、世界的な危機管理体制の構築や防犯意識の高まりとともに成長している会社である。ホンジュク産業団地には、2014年6月に入居していて、約3,000㎡（約1,000坪）の敷地に工場を建設、従業員34人を雇用し機器の設計から製造、性能検査、梱包出荷を行っている。

|(株)ティエス

本年6月に入居、建設されたばかりの会社である。同社は、独自開発したデザインやイタリア、フランスの企業から供給を受けたデザインを用いて昇華転写を行っている。捺染は同社で直接生産し、関係会社でポリエステル・レーヨン・綿・ナイロン等に捺染する。完成したプリント生地は韓国、欧州、米国、日本などに輸出されている。約6,625㎡（約2,200坪）の敷地工場に、若手の従業員30人を雇用している。

（訪問団議員 平井 登）



5. テクノバリー誘致現場視察

楊州市は、企業誘致に非常に熱心に取り組んでおり、現在も市内各地に多くの企業が進出しています。

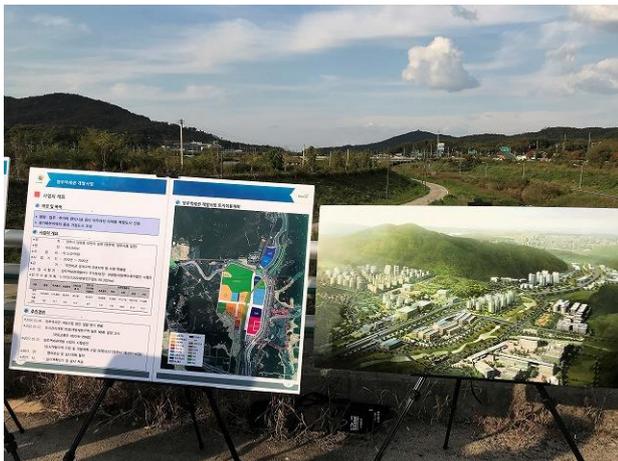
そしてさらに、現在、市郊外の広大な土地に、テクノバリーという大規模な工業団地の誘致計画が進められています。

国策として推進されている計画であるため、候補地として名乗りを上げる自治体が多くあったものの、最終候補地が2箇所まで絞られている状況です。

ただ、この楊州市の候補地は郊外でありながら鉄道の駅からもほど近く、すでに近隣の住民の移動もはじめるなど、準備も万端進んでいることから、ほぼ楊州市で決まりそうであるという見通しが立っているそうです。

ソウルから約 30 km、という地の利を生かして、水面下で打診している多くの企業が、立地の計画を立てています。

この計画が予定通りに進めば、数万人規模の人口増加に寄与し、楊州市の人口は、今後 10 年間で、21 万人から 30 万人を超えるまでに増加するという推計が立っています。



6. オクジョン新都市建設広報館視察

政治経済の中心地であり、人口の密集地帯となってしまったソウルでは、住宅価格の高騰や、生活環境の悪化が問題となっています。そうした住環境の悪化に伴い、地方に移住する市民が多くいます。その中でも、楊州市は、ソウルまで約 30 分を通える便利さもあり、移住者が急増しています。

人口増加が続いている楊州市ですが、前述のテクノバリー構想などもあり、今後さらに人口増加が見込まれることから、大規模な新都市建設が行われています。

オクジョン新都市計画では、大規模なアパート（日本でいうマンション）建設をはじめ、病院、学校、都市公園や緑地なども含めた大型の新都市建設が行われます。ここでは最先端の都市計画によって、人と自動車が交差する場所を極力減らし、住居から公園や水辺、緑地などにすぐにアクセスできるような配置がなされ、安心・安全な暮らしを得ることができるよう配慮されています。

楊州市内では、このような大きな新都市がすでに3箇所もあり、市の発展が続いていることが実感できました。

(訪問団議員 鈴木岳幸)



世界文化遺産見学の概要

(訪問団議員 平井 登)

【宗廟】 1995年 ユネスコ世界文化遺産登録



宗廟は、朝鮮王朝の歴代王と王妃の位牌を祀る聖地で、1394年、朝鮮王朝が漢陽（現在のソウル）に都を移した際に着工し翌年に完工する。同時代の単一木造建築としては世界最大規模を誇り東西に伸びる珍しい建築様式になっている。この造りは国王らがこの世を去るたびに位牌を安置する空間を一室一室増築してきたためである。

【昌徳宮】 1997年 ユネスコ世界文化遺産登録



昌徳宮は、李氏朝鮮の宮殿で日本の梨本宮家から嫁ぎ大韓帝国最後の皇太子・李垠の妃となった李方子（まさこ）もこの宮殿で暮らされていた。美しく広大な宮廷には儀式を行う写真の仁政殿、国王が執務した宣政殿、王と王妃の寝殿だった大造殿など13棟の木造建築が現存している。

【水原華城】 1997年 ユネスコ世界文化遺産登録



水原華城は、李氏朝鮮時代の城塞遺蹟で、18世紀末に第22代国王の正祖が、老論派の陰謀により横死した父・思悼世子の墓を楊州から水原に移して、その周囲に城壁や塔、楼閣、城門を築いて防備を固めたものである。城壁の長さは5kmを超えるが、建造は1794年から翌95年のわずか2年で完成させ、37万人の労力を投入したという。

【南漢山城】 2014年 ユネスコ世界文化遺産登録



南漢山城は、ソウル南東の京畿道広州市にある。北漢山城と共に「丙子の役」の際、仁祖が入城して清と対抗した要塞である。海拔500mの険峻な自然地形を利用しており、清涼山を中心に東西南北の峰々を約9kmの長城で圍繞する朝鮮式山城の典型で、1950年代に公園整備化されている。

訪問団議員の感想

訪問団議員・代表 西原 明美

「百聞は一見にしかず」の言葉通り、楊州市訪問では、多くの体験をさせていただきました。

一つ例を挙げると、『楊州市民の日』は、藤枝市にとっても参考にすべき点が多くありました。楊州市の市民表彰は、とにかく大勢をスピーディーに表彰し、その友人や家族がみんなでステージに上がり花束をプレゼント、市長を囲んで記念撮影をするのです。表彰そのものの重みが少しなくなりますが、表彰される人が現役世代であることも、注目すべき点だと思いました。これからのがんばりの励みになるのです。その盛り上がりは、その場で見て感じた人として共有できない感覚であり、言葉で説明しても伝えられないのです。

議員として、価値観の違う海外での様々な体感、新たな考えや発想が生まれ、とても貴重なことです。今回の楊州市訪問で多くを学ばせていただきましたことに、関係各位をはじめ、拙い団長のもと、ご一緒いただきました訪問団の皆さんに、心から感謝申し上げます。

訪問団議員・副代表 萩原 麻夫

私は、平成 21 年に楊州市と友好都市締結後に議会代表として訪問して以来 2 回目になります。今回訪問して驚いたことは、町の姿が、ずいぶん変わったことです。特にソウルのベットタウンとして当時は、高層住宅と大規模な企業誘致の計画があり、将来の楊州市の姿を感じていました。

今回 8 年ぶりに、その計画地であったホンジュク一般産業団地を見学し食料品、繊維、精密製造業などの入居企業は 58 社に及び 2,500 人の雇用を生み出している発展ぶりは目を見張るものでした。

現在、人口は 21 万人で企業総数も 1,897 社に及んでいますが、さらに今進めているオクジョン新都市開発地区が完成しますと 10 年後の人口は 30 万人を見込まれているようです。

また、「市民の日」式典では、市長をはじめ多くの表彰者と市民で盛り上がり、楊州市の勢い

を感じました。

今回の訪問でインフラ整備の効果と居住空間の充実で、企業が人を呼び、人が人を呼ぶ、その姿が眩しく見え、本市の発展に繋がれば良いと感じました。

訪問団議員 小林 和彦

本市と姉妹都市である楊州市の人口は、藤枝市を大きく上回る 21 万人余、企業数は 1,897 社もありながら、議員数はわずか 8 名、地域性で選出されているのだろうが、それだけ市議会の議論も重要で大変な準備と調査が必要ではないかと感じた。

ソウル近郊という地の利もあると思うが、今後どれだけ発展していくのか、人口減少時代を向かえているわが国から見れば、羨ましい限りである。

開発都市であるオクジョン地区、最先端産業団地であるテクノバリー地区など、ソウル近郊という地の利もあり、発展が期待されている。とりわけ目立ったのは超高層マンションの建設中の場所も多く、施設の統廃合や集約をせまられている日本とは、大きな違いがある。

楊州市とは今後も、決して良好とはいえない日韓関係の中で、両市との交流をより一層深め、日韓友好の一助となるよう親善関係を築き上げていきたいと考えています。

訪問団議員 石井 通春

成長著しい楊州市、人口は 21 万余であるが、開発を進める新都市オクジョン、最先端産業を誘致するためのテクノバリー地区など、ソウル近郊という地の利もあると思うが、これからどれだけ繁栄していくのかと、人口減の決めつけで、施設の統廃合や集約ばかりいわれる日本から見れば羨ましい限りと思うこと多々であった。

楊州市だけでなく、ソウル特別区でもひときわ目立ったのが超高層マンションの数々、建設途中のマンションも多い。日本ではあまり見ら

れない、それこそ“林立”という状況であった。これは地震の心配がほとんどないので、建築基準が緩やかなのであろう。クーラーの室外機がベランダでなくマンションの外壁にそのまま取り付けてあるのもその一例か。

隣国でありながら、考え方もおおいに違うが、お互いにそれを受け止めつつ交流を深めていくことが大事であろう。

| 訪問団議員 松寄 周一

藤枝市の友好都市である韓国楊州市からの招聘状を受け、議会訪問団が結成され、その一員として参加することとなりました。楊州市へは平成 17 年と 18 年に足を運ぶ機会があり、私にとって身近に感ずる都市でした。当時楊州市に、日本で人気の韓国ドラマ「宮廷女官チャングムの誓い」の MBC 楊州スタジオがあり、観光で訪れていました。

楊州市および市議会からは温かく迎えられ、両市の絆というものを強く感じさせていただきました。また、主目的である「楊州市民の日」参列のほか、楊州市が推進中の企業立地事業や新都市建設事業等の現場も視察しました。ソウルからの高速道路も整備され、以前は車で 1 時間程であったものが、現在は 30 分程に短縮されていました。都市化への動きが加速され、まさに新都市建設に向けて大きく胎動しているという勢いを感じさせられました。

今後とも、藤枝市と楊州市の友好都市の絆がさらに強まるよう願っています。

| 訪問団議員 平井 登

地方議員の海外視察が巷間では何かと物議を醸す中、16 期藤枝市議会では 3 班（7～8 名づつ）に分かれて、平成 26 年に台湾の台南市、平成 27 年にオーストラリアのペンリス市、そして今回の韓国楊州市への表敬訪問をもって全議員 22 名の海外視察が完了する形となった。

いずれの都市も本市と姉妹都市提携をしていて、中・高校生による交換留学事業や市職員

の研修交流、産業祭への関係団体の出展、さらにはサッカーを通じたスポーツ交流等が行われ続けて来ている。

その目的は、市民の国際理解や国際感覚をより醸成させ、グローバル社会に通じる人材の育成と本市の産業発展に繋げるためである。

議員になって初めての韓国楊州市への訪問の機会を得て、実際に富士山静岡空港から仁川国際空港に一飛び、車で 1 時間半程の距離にある同市へ移動。同市の市民祭の模様や市の経済発展に寄与する大規模な産業団地開発と入居した先進的事業を営む企業訪問、また人口増加に直結する新都市建設地区とその構想がわかる広報館視察、さらには世界文化遺産の数々を目の当たりして見て、行政と議員の果たすべき役割を感得したような充実感を味わうことができた。楊州市および藤枝市民に感謝したい。

| 訪問団議員 鈴木 岳幸

都会にも田舎にも近い楊州市の風景は、どことなく藤枝と似ているように見えます。

楊州市内の各地を視察して、様々な施策により、人口も経済規模も今後益々発展することがほぼ確実であること、先進国の首都近くに位置しながら街の勢いがまるで高度成長期のようにあり、可能性に満ち溢れていることが、肌で感じられました。友好姉妹都市の一市民としても、大変喜ばしく、そして羨ましくも感じられます。

今回の訪問にあたり、楊州市の市長、副市長、市議、市役所職員の皆さまには大変なご歓待を賜りました。心より感謝いたします。

国家同士の関係では、様々な要因が複雑に絡み合い、意見がぶつかることもままありますが、こういう時であるからこそ、地域と地域の関係で、真の友好を確かめ合うことができ、本当に嬉しく思っております。

今後、人的、経済的、文化的な交流がさらに活性化され、互いの理解を益々深めていくことを望みます。友好を重ねてきた楊州市と藤枝市には、必ずそれができます。

おわりに

今回の公式訪問を無事終え、訪問団一同貴重な体験をさせていただいたことに、改めて感謝を申し上げます。

楊州市の市長様をはじめ職員ならびに議員の皆さまには、大変お忙しい中、丁重なるおもてなしをいただき、友好の絆を強く感じました。

私たちは、韓国の異文化と心情に触れ、言葉は上手く伝わらなくても、お互いの意思疎通が図れたと思います。短い期間ではありましたが、充実した訪問になりましたことは、議員全員が、見識を新たにしたものと思います。これも、藤枝市と楊州市が姉妹都市として、これまで培ってきた交流事業の積み重ねであると深く感じております。

今後も、この絆を大切にして議員の立場と市民の一員としても友好事業に深く関わっていけたら幸いに思います。

結びにあたり、このたびご招待いただきました市長のイ・ソンホ様、副市長のオ・ヒョンスク様、市議会議長のパク・ギルソ様をはじめとした議員の皆さま、そして楊州市職員の皆さま方に感謝を申し上げ、楊州市行政視察訪問団の報告と致します。

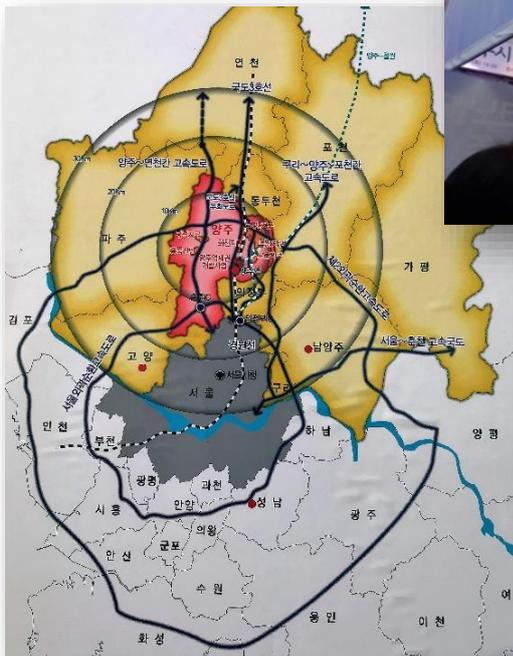
藤枝市議会ヤンジュ市訪問団 副代表 萩原 麻夫

ADMINISTRATIVE INSPECTION REPORT TO YANGJU CITY



楊州市議場で訪問団議員と楊州市議員

- 杉本議会議務局長
- ジョン・ドクヨン
- 鈴木 岳幸
- ファン・ヨンヒ
- 石井 通春
- パク・ギョンス
- 平井 登
- パク・ギルソ
- 西原 明美
- キム・ジョンギル
- 萩原 麻夫
- ホン・ソンピョ
- 小林 和彦
- 楊州市事務局職員
- 松壽 周一
- イ・ヒチャン





姉妹都市



藤枝市議会楊州市行政視察・表敬訪問 報告書

発行日 平成29年(2017年)12月21日